

長生稲作情報 第6報

(2021年8月5日発行)

長生農業事務所 改良普及課
電話 0475-22-1771

◎長生地域の生育状況

7月16日の梅雨明け以降は晴天の日が多く、気温も平年並～やや高く推移し、生育は概ね順調に進んでいます。病害としては、いもち病の穂首感染が散見されます。

収穫適期判断のため、別添の県生育情報等の成熟期予測の5日前くらいから帯緑色歩合を確認しましょう。また、収穫適期の前に倒伏した場合は、籾の黄化が進みにくくなり、穂発芽等の発生が見られることがあるので、品質が低下する前に収穫しましょう。

引き続き、熱中症や収穫作業時の事故やケガに十分注意してください！

表1 主要品種生育調査ほ施肥設計

品種	基肥 (kg/10a)					追肥 N	栽植密度 (株/m ²)	植付 本数
	施用 方法	現物	N (速効：緩効)	P	K			
ふさおとめ	全層	40	5.6	7.2	5.6	3.4	19.6	5.5
ふさこがね	側条	30	7.2 (2.0：5.2)	4.2	3.3	0	18.1	4.0
コシヒカリ	全層	40	5.6	7.2	5.6	2.2	18.1	4.7
粒すけ	側条	45	9.0 (4.0：5.0)	5.4	6.3	3.3	18.5	3.0

表2 主要品種生育調査結果

(調査日 ふさおとめ：7/19、ふさこがね：7/21、コシヒカリ：7/26、粒すけ：8/3)

品種	場所	年	移植日	最終 葉令	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)	穂数 (本/m ²)	葉色 (SPAD)
ふさ おとめ	茂原市 (長尾)	2021	4/11	13.6	83	18.1	26.0	509.6	37.4
		参考値	4/15	12.3	78	17.6	27.6	467.8	36.3
		県平均	4/23	12.9	78	18.2	23.7	439.5	39.0
ふさ こがね	茂原市 (七渡)	2021	4/15	13.6	75	17.9	27.4	495.9	33.0
		参考値	4/17	11.9	75	17.8	25.5	433.1	36.5
		県平均	4/21	12.5	79	19.4	24.7	436.2	40.1
コシ ヒカリ	茂原市 (長尾)	2021	4/13	13.0	99	19.4	28.4	514.0	37.1
		参考値	4/15	12.1	98	19.0	28.2	481.7	37.1
		県平均	4/22	12.7	92	19.3	23.1	426.5	36.0
粒すけ	長生村 (信友)	2021	5/4	—	84	20.4	23.7	438.5	38.8
		県平均	5/3	—	83	20.3	22.7	374.6	38.0

※参考値は、同調査地点の「ふさおとめ」過去5か年、「ふさこがね」過去2か年、「コシヒカリ」過去3か年の平均値です。また、県平均は今年度の県内他調査地点の平均値です。

◎各品種の適正生育量について

千葉県で主に栽培されている水稻の各品種の適正生育量は以下の表のとおりです。適正生育量を目安とし、目標収量の達成を目指して栽培しましょう。

表3 主要品種適正生育量（砂質土、壤質土の場合）

品種	目標収量 (kg/10a)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	籾数 (粒/m ²)	千粒重 (g)
ふさおとめ	540~600	80以下	470~500	28,000~32,000	23~23.5
ふさこがね	600	80以下	350~400	27,000~31,000	23.5~24
コシヒカリ	540	90以下	430~450	34,400~36,000	21
粒すけ	630	85以下	400~440	31,000前後	23~23.5
アキヒカリ	660~710	85以下	400~500	40,000~45,000	20~21

◎収穫後のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）防除について

管内で水稻に対して毎年大きな被害をもたらすジャンボタニシは、水田の水がなくなると土中に潜り、水田内で越冬します。越冬した個体は来年の田植後に被害をもたらします。来年の被害を減らすためには、収穫後に水田内で越冬する個体数を減らすことが重要です。

（1）耕うんの実施

収穫後の耕うんでは、ロータリーの刃がジャンボタニシに当たることで一定の殺貝効果があります。また収穫後の耕うんは、有機物の腐熟促進、多年生雑草防除などにもつながります。ジャンボタニシ防除を目的とした耕うんのポイントは以下のとおりです。



写真：ロータリーの刃で破碎された貝
※試験のため、貝を白く着色しています。

【ポイント1】なるべく土が硬くなっているときに
耕うんしましょう。

【ポイント2】ロータリーの回転数を上げて（目安：PTO2速）、なるべくゆっくり
耕うんしましょう。耕うんの深さは慣行のままで構いません。

【ポイント3】秋から春にかけて複数回耕うんしましょう。

（2）石灰窒素の散布

収穫後の水田に石灰窒素を散布することで、水田内の個体を減らします。ジャンボタニシ防除を目的とした石灰窒素の散布のポイントは以下のとおりです。

【ポイント1】大雨のあとなどで水田に水があり（水深3~4cm）、水田内でジャンボタニシの活動を確かしてから散布しましょう（10月中旬頃まで）。

【ポイント2】散布後は数日間放置して、自然落水させる。

※魚介類に影響があるため、石灰窒素を含んだ水を水路に流さないでください。

※翌年コシヒカリを栽培する場合や粘土質のほ場の場合は、基肥の窒素成分を10a当たり1kg程度の減肥を検討してください。